



～今後も高温の予想！刈り遅れに注意！～

1 8月20日現在の生育状況 ～ 穂数は少なく、 m^2 当たり着粒数は平年並 ～

表1. 8月14日の水稻定点調査結果（農業振興普及課）

	穂数 (本/ m^2)	葉数 (葉)	着粒数		出穂期
			粒/穂	粒/ m^2	
本年	406	13.2	82.8	33,301	7月28日
平年	486	12.9	68.3	33,005	8月1日
平年差 (%・±)	83%	0.3	121%	101%	-4

(あきたこまち・管内5地点)

- 管内では、7月下旬には出穂期に達したほ場が多く見られ、管内全域の出穂盛期は平年より3日早い7月31日となりました。定点ほ場の出穂期平均は、平年より4日早い7月28日となっています。
- 穂数については、茎数が生育期間を通して少なく推移したため、平年比83%と少なくなりました。
- 一穂着粒数は、茎数が少なく幼穂形成期から減数分裂期頃の葉色が平年並程度で推移したため、平年比121%と多くなりました。
- m^2 当たり着粒数（ m^2 当たり穂数×一穂着粒数）は、穂数は少ないものの、一穂着粒数が多いことから、平年比101%で平年並となりました。

2 病虫害防除 ～ 斑点米カメムシ類・穂いもち対策の徹底を ～

● 斑点米カメムシ類

- 病虫害防除所から、8月7日に防除対策情報第10号が発表されました。8月1半旬の巡回調査における斑点米カメムシ類の水田内すくい取り調査では平年よりやや少ない状況ですが、水田内雑草が発生しているほ場での斑点米カメムシ類の発生量が多くなる予想です。
- 水田内にホタルイ等のカヤツリグサ科雑草やノビエが発生しているほ場、イネ科植物主体の牧草地や休耕田に隣接しているほ場では、出穂期10日後頃の防除に加えて同24日後頃にも、エクシード剤又はキラップ剤の茎葉散布による防除を行います。
- 畦畔・農道及び牧草地（法面や休耕田等）の草刈りをする場合は、斑点米カメムシ類の本田への侵入を防ぐため、稲の収穫2週間前以降に行います。

● いもち病

- 病虫害防除所から、8月7日に防除対策情報第9号が発表されました。8月1半旬の巡回調査における穂いもちの発病株率は県北部でやや高くなっています。
- 穂いもちが多発しているほ場では、今後、穂いもちへの移行が懸念されますので通常の防除に加え、傾穂期にもラブサイド剤による防除を行います。
- 本田での薬剤の成分使用回数は、トライ剤は2回以内、ラブサイド剤及びビーム剤はそれぞれ3回以内となっていますので注意してください。

3 登熟向上を図る水管理

- 1か月予報（仙台管区气象台8月14日発表）では、向こう1か月は気温が高い予想です。特に前半は気温がかなり高い予想となっています。降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い予想です。
- 早期の落水は、葉色の低下や枯れ上がり、根の機能減退により登熟が妨げられ、収量、品質、食味の低下に影響する場合があるため、落水の時期は概ね出穂30日後としてください。

4 刈り取り ～ 平年より気温が高く推移、刈り遅れに注意 ～

あきたこまち等の早生品種では、出穂後の積算気温が1,100℃を超えると胴割れ米の発生割合が増加します。特に本年のような高温が続く年は発生しやすくなります。

出穂後の日数や積算気温を確認するとともに、籾の黄化程度、枝梗の黄化程度などを観察し、総合的に判断して下さい。

刈取適期の目安

○出穂後の日数

早生品種で45日前後、中晩生品種で50日頃

○出穂後の積算気温：出穂期翌日から日平均気温を積算した値（表2参照）

早生品種（あきたこまち等）・・・950～1,050℃

中晩性品種（めんこいな等）・・・1,050～1,150℃

○籾の熟色

葉や穂首が緑色であっても籾黄化程度が90%（黄色＋黄白色の割合）の頃

○枝梗の黄化程度

穂の主軸の上から5番目までの枝梗が黄化した頃

表2. 出穂後の積算気温到達日予想

積算気温 出穂期	950℃	1000℃	1050℃	1100℃	1150℃
	早生品種「あきたこまち」等			中晩生品種「めんこいな」等	
7月27日	9月6日	9月8日	9月11日		
7月31日	9月11日	9月14日	9月17日	9月19日	9月22日
8月5日	9月19日	9月22日	9月25日	9月28日	10月1日9
8月10日	9月26日	9月29日	10月2日	10月6日	10月10日

※8月17日までは実況値、8月18日以降は平年値で計算

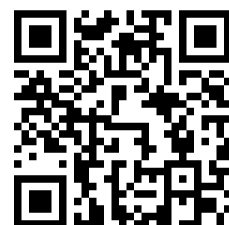
○本年の出穂盛期である7月31日出穂のあきたこまちでは、9月11日に積算気温から予測した刈取適期の目安となる950℃に到達します。今後も高温の予報となっており、積算気温の到達はさらに早まる事が予想されます。

○刈り遅れにならないように作業計画を立てて下さい。

ＪＡ・主食集荷商業協同組合加入業者以外の集荷業者や消費者への直接販売をしている方は、ご自身の責任で確実に玄米カドミウム濃度を分析し、安全な米の販売を行ってください。

分析機関等の詳細な情報はこちらから

(<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/90269>)



近隣に水稻以外の作物（野菜等）がある場合や養蜂業者がいる場合は、薬剤散布前に情報交換を密にして散布を実施してください。

！今後も高温の予報！作業前に「熱中症特別警戒情報」等の発表を確認しましょう！

あきたこまちRを
紹介しています！
紹介ページはこちら



※クマにご注意下さい
クマに関する情報はこ
ちらから



熱中症対策には環境
省の熱中症予防情報
サイトを活用下さい

